

# NATIONAL RECREATIONAL FISHING CODE OF PRACTICE

## アマチュア・アングラーの行動規範(抜粋)

これはオーストラリアで発行されている「釣り人に向けた基本ルールと考え方」のガイドブックです。同様に釣りのルールがしっかりしたアメリカでも、各州でこのようなガイドブックが発行されていますが、いずれの場合も基本的に据えられているのは、アマチュアの釣り人としての倫理規範と、自分以外の人や相手となる魚、環境に配慮した姿勢を持つことが釣りを末永く楽しむことにつながるというコンセプト。

いいですねえ、日本の釣りにもこれは必要なものでしょう。

日本でも内水面の漁協では「遊漁規則」などで釣法や制限尾数を定めているものはありますが、釣り人のあるべき姿勢をその根本に据えたものは見たことがありません。

また、このガイド内容は状況に応じて変わる、つまり、魚の資源状況が変わったりすればバググリミットの内容も釣り人の持つべき姿勢も変わってくることを示唆しています。固定をよとせず、その時点でベストと考えられる判断を行う柔軟性が組み込まれているのです。では、読んでみてください。

### はじめに

この「基本文書」は、生きものと考えてください。趣味の釣りに関して新しい情報や科学的知見が得られるようになったら、この内容は必要に応じて見直し、改訂されます。当文書は、あらゆる形の釣りに関し「現段階で最高と思われる方法論」を紹介するものです。ゲームフィッシュをねらう釣りや水中銃を使った捕獲など、魚を対象とするアマチュアの行為は専門的に分化していますが、それぞれの領域において倫理規範が確立されています。

この基本文書が取りあげるテーマや方法論は、すべての釣り人に届けるため、パートナーやコミュニケーション戦略を通じて修正、単純化、個別化、伝達などが可能なようにデザインされています。

### 目的(Objective)

釣りに際し、各人が責任ある判断を行うことのできる知識・情報を提供します。

### 範囲(Scope)

この基本文書は、淡水、汽水、海水域で行われるアマチュアの釣り全般に適用されます。

### テーマ(Themes)

この基本文書および派生するコミュニケーション内容は、「敬意」「責任」および「持続可能性」を軸とし、以下の4テーマに反映されます。頭文字を集めると「FISH」になります。

- Fishing—釣りの行為
- Interaction—他人との関係
- Stewardship—守り手の役割
- Habitat—魚の生息環境保全



## Fishing—釣りの行為

「私は、魚への感謝を忘れず、大事に取り扱います」  
「釣りの行為」テーマに関係する釣り人の行動は、以下がベストと考えられます。

### 【釣り一般】

- 責任ある釣り人になりましょう。釣り道具に関して学び、状況に応じて正しい選択ができる知識を蓄えてください。道具を放置しないように。
- リリースしないしキープする魚も含め、動物を尊敬し、倫理的に取り扱うのは人間として当然の責任です。

### 【魚を持ち帰るとき】

- 持ち帰る魚は最大に活用しましょう。締めたらただちに氷に漬け、最高の味と保存状態を生むために、直射日光を遮るクーラーや濡らした袋などに入れます。
- 釣りに関する法規を守りましょう。サイズリミットやバググリミットに照らし、所定寸法より小型の魚、所定寸法より大型の魚、保護されている魚などは放流しなければなりません。キャッチ&リリース・フィッシングで使う方法を学び、魚を適切に取り扱しましょう。

### 【キャッチ&リリースをするとき】

- 準備が大事です。リリース後の生存率とコンディションを高める釣り具を使いましょう。できるだけルアーを使う、生餌を使う場合はオフセットのないサークルフックを使う、ネットはラバー製を使う、フックはパーブレスにするなど、魚にやさしいことを念頭に置いてください。ハリ外しも、つねに手元に置いておきましょう。
- 手早く作業を。魚が上がったら、空気中で取り扱いを行う時間をできるだけ短くし、リリース後の生存率を高めましょう。できれば、魚を水から上げることなくフックを外してください。手早くハリが外れない場合は、フックにできるだけ近い位置でラインを切りましょう。
- やさしく。魚を水から上げなければならない場合には手を濡らし、つねに魚の体を支えているようにしてください(尻尾や口をつかんで垂直に吊り下げない)。乾いた表面に魚を置かないように。取り扱う時間は短時間に抑えましょう。

### JGFAから

釣り人の行動はいかにあるべきか。これを明文化したのがこの部分です。釣り人は釣りのすべてにわたって責任を持つ。相手となる魚の取り扱い、とくに必要以上の捕獲は慎もう、それがゲームフィッシュへの敬意であり、釣りを存続させるための基本だということを強調しています。リリースの際の心構えと具体的な方法が書かれています。

ゲームフィッシング大国オーストラリアとはいえども、すべてキャッチ&リリースではありません。持ち帰って食べることについても正しい持ち帰り方、バググリミットの範囲を奨励していますね。

キャッチ&リリースするのであれば、その後、リリースした魚がちゃんと生き延びるようにすばやく、丁寧に扱おうということが説明されています。これに関しては当イヤーブックのP190「キャッチ&リリース」ページも参考にしてください。

○コンディションに注意。ランディングすると魚は疲れますから、回復させなければなりません。流れがある場合は、頭を上流に向けて魚を支えます。流れがない場合は、エラに水を通すために魚を前進させます（後退させないように）。回復したら、外敵のいない場所でやさしくリリースしてください。

○さまざまな手段を知りましょう。底魚の中には、水面まで引き上げられると水圧障害 (barotrauma) を受けてしまうことがあります。ダイバーが潜水病にかかるのと同じことです。10メートルより深い場所での釣りはできれば避けましょう。リリースしたい魚が水圧障害の兆候を見せていたら、できるだけ早くハリを外し、リリーススウェイトなどの沈降ツールを用いて手早くリリースします。



ボートが3艘も並んでアンカリングされ、8人が狭いポイントに入っていますが、皆が仲よさそうに釣りをしています。アマチュアたるもの、こうありがたいですね



## Interaction—他人との関係

「私は、他人も尊重します」

「他人との関係」テーマに関係する釣り人の行動は、以下がベストと考えられます。

### 【他人との関係】

○周りに気を配ることができる釣り人になりましょう。入念な準備を最優先にし、あなたの行動が他人にどう捉えられるか意識しておきましょう。

○他人の楽しみは、あなたの楽しみと同列です。他の釣り人や釣りをしない人たちに礼儀正しく接しましょう。

○水のあるところは、皆のものです。遊泳者がいる人気のスポットなどでは、釣りをしないようにしましょう。魚をさばくときは水から離れた、人のいないところで行い、ワタは適切に処理しましょう。ボートランプの多くが専用のエリアを設置しています。

○漁業者は、免許制に基づき管理されています。釣りとの関係のないコミュニティにおける彼らの経済的役割を知り、尊重しましょう。

### 【安全な釣り】

○安全確保は、釣りに関わるすべての人の責任です。適切な着衣や靴、日焼け止め、飲料、天気情報の入手など、入念な準備が安全面にもたらす利点を知りましょう。ボートには、必要となる安全用具を積載しておくこと。

○釣りは楽しいですが、危険もあります。出かける場所の潮汐や波の状況、沖のリーフやその他の危険について調べ、それに基づいて判断を行いましょう。ビーチにおいても、潮流や離岸流などについて知っておきたいものです。地域によりますが、磯釣り予報が入手できる場合は活用してください。

○魚を釣りたいがために、けがや死亡のリスクを負わないようにしましょう。単独で釣りに行くリスクを考慮しましょう。釣りの目的地と帰還の予定時間は、必ず誰かに伝えておきましょう。

○私たちは、つねに向上し続けることができます。危険とされる釣り場に行くときには、安全策を実演して他の人に見せましょう。もしあなたがビギナーなら、経験のある人に助言を求めてください。

### 【ボートの使用】

○ボートに乗って出かける釣りはリラックスできますが、警戒を怠ってはいけません。つねに周りを見回し、他のボート、陸から釣っているアングラー、ダイバー、遊泳者たちから安全な距離を確保しましょう。

### 【4WD車の使用】

○自然環境は、誰もが平和さを味わい、楽しむためのものです。道のないところに乗りだしていく場合は、他の人のことも考えましょう。

○自然環境は、大小多くの動物たちが住んでいます。車両の走行によって野生動物と環境にどのような影響が生まれるか考えましょう。すでに付いている道のみを使い、砂浜の場合は許可されている場合のみ走行しましょう。自然環境は壊れやすいものと思ってください。

○自然環境を走行していると、予期せぬ事態が起こります。速すぎると危険です。速度を落とし、風景を楽しんでください。

### 【無線の使用】

○無線通信は、安全性を高めてくれます。その機能を尊重し、できるだけ控えめに、責任ある使い方をしてください。

釣り人はあなた一人ではありません。釣り人同士、お互いの気持ちを察する姿勢が大事ですね。また、釣場には釣り人だけでなく、その他のレジャーを楽しむ方、漁業者の方もいます。そのような方々を尊重しながら争うことなく、釣りを楽しんでください。

野外で楽しむレジャーは釣りも山も安全第一。事故を起こせば自らの命はおろか、周りの人たちに大きな迷惑をかけてしまいます。このあたりのことを釣りのガイドブックでしっかりと言及するのは、オーストラリアがさすがに釣りの先進国といわれるゆえんではないでしょうか。改めて、釣りを安全に楽しむことに気を配りましょう。

ボート、クルマ、それに無線、それらを安全に使用することも大事です。無線ももちろんですが、今は携帯電話（スマホ）が多くの命を救ってくれています。非常用の連絡手段として確保し、予備バッテリーの携行、防水袋の使用なども検討しましょう。





## Stewardship—守り手の役割

「私は行動によって、魚と環境に気を配っていることを示します」

「守り手の役割」テーマに関係する釣り人の行動は、以下がベストと考えられます。

### 【魚の数とサイズ】

○アマチュアの釣り人として、思慮ふかい行動を取りましょう。持って帰る魚の数を自制し、繁殖期の大型魚はリリースしてください。また、さまざまな魚に関して知識を蓄えましょう。

○釣り関連の法規は、けっきょく皆様のためにあります。バッグリミット、サイズリミットも含め、適用されるルールを熟知しましょう。バッグリミットはあくまで上限であり、この数を持ち帰らなければならないということはありません。

○注意を怠らないようにしましょう。小型の魚のみが多く釣れてくる場所は幼稚園のようなもので、大型の魚がいない可能性があります。場所を変えましょう。

### 【科学への貢献】

○釣りの対象魚を研究している科学者に協力しましょう。タギングをはじめとした一般向けプログラムを知り、参加しましょう。

○チャーターサービスの質は、事業者によって異なります。サステナブルな行動を取っており、環境および安全基準に正式合格した船を選んでください。

○アマチュアによる魚の販売や卸売を見つけたら報告してください。法規違反を見つけたら関連部署に通報しましょう。

### 【釣り大会】

○資源に影響を与える可能性が小さく、よく考えられたルールを採用する釣り大会にのみ参加してください。釣り大会の環境基準に関しては、www.neatfish.comを参照のこと。

### 【絶滅危惧種や保護対象種】

○絶滅危惧種や保護を受けている魚種について学びましょう。知識があれば、見かけたり釣り上げたときに適切な対応ができます。

○つねに用心しておきましょう。保護対象の魚やよくわからない魚を釣り上げたら、キャッチ&リリース・フィッシングの時に準じて、ただちにリリースしましょう。

ポートランプには、保護対象種の取り扱いと報告の仕方を示した看板が掲げられていることも多いものです。連絡先は控えておき、活用してください。

### 【大型の水棲動物】

○ウミガメ、鯨、およびジュゴンなどの水棲哺乳動物は、呼吸のため定期的に浮上しなければなりません。ボートに乗っているときはつねに周りを確認し、生息水域では速度を落としましょう。

### 【その他動物への影響】

○野生動物との出会いは、釣りの体験をさらに豊かにしてくれます。ただし、近寄りすぎる、大きな音を出す、脅かすなど、動物に悪影響を与えないようにしてください。



## Habitat—魚の生息環境保全

「私は野生環境を尊重・保護し、その復活に取り組みます」

「魚の生息環境」テーマに関係する釣り人の行動は、以下がベストと考えられます。

### 【ボートや車両による汚染】

○アマチュアとして環境に気を配りましょう。船や車のメンテナンスを怠らず、自分が環境に与えている影響に責任を持ってください。自動車やエンジンは排出物質の少ない新型に変えていくと、環境への影響を押し返すことができます。

○釣りに対するあなたのアプローチに誇りを持ちましょう。壊れたタックル、ビニール袋、瓶や梱包材なども含むゴミは、所定のところに捨てるか自宅に持ち帰ってください。釣り場が汚れている場合はごみ拾いをしましょう。

○釣りの中心にあるのは、自然環境です。環境の美と働きについて知り、釣りのときにはそれを損なわないようにしましょう。オフロード走行、操船時などはなおさらです。

### 【釣りによる環境ダメージ】

○魚をはじめとする水棲動物にとって、底はきわめて重要な生息環境です。操船時やアンカー投入時は気をつけましょう。とくにサンゴの周り、岩礁、貝でできたリーフ、海藻の繁茂するエリアなど。

○植物の生えた岸、マングローブ、沼地などは重要なバッファ領域であるとともに、多くの生物が繁殖および避難のために使います。速度基準が定められているエリアではそれを厳守し、波による岸の浸食を起こさないようにしましょう。

このガイドブックでもっとも訴えたいことが述べられています。魚の数とサイズに気を配ることこそ、将来においても釣りが続けられる一番のキープポイント。このことを踏まえ、釣り人にバッグリミットの大切さを訴えていることは素晴らしいことではないでしょうか。日本の釣りも行政も早くこのことに気づいてほしいと心から思います。

ゲームフィッシュの資源や数、サイズなどに関する情報があってこそ、資源保全の方策が検討できます。JGFAがタグ&リリースを実施しているのもこの視点に則ったものです。

また、釣った魚を販売することは明日の釣魚資源を大いに脅かすことと考えており、JGFAも注意喚起しています。日本では釣り人の釣った魚を販売することは厳密には法律で規制されていませんが、どう考えてもアマチュアのすべき行為ではないことと認識してほしいものです。本誌のp160をご参照ください。

大会は、釣りを奨励するために大事なイベントですが、ゲームフィッシュの資源減少に拍車をかけたり、釣果優先の考え方を釣り人に植えつけ、しかも賞品や賞金目当てに走らせるようなルールであれば、アマチュアの釣りの精神を脅かすものになります。釣り大会の参加にあたっては、それらのことをよく見極めてください。とくにゲームフィッシュ資源に配慮していない大会には要注意です。

釣りをしていれば狙っている以外の魚や動物がかかってくる可能性があります。それらの魚や動物について理解して、無駄に殺すことのないようにするのも釣り人の持つべき姿勢であることを理解しましょう。狙った魚以外だからといって、手荒く扱ったりするのも問題外です。

釣り人はゴミを捨てて困る、海(湖)底に仕掛けを根がかりさせて、オモリや釣り糸を放置して魚が住めない環境にしている、陸上でも釣り糸が野鳥にかりダメージを与えている、クルマで岸辺の環境を破壊している、ボートのイカリを下ることでサンゴ礁を壊している。残念ながら、そのような指摘は事実である場合が多いようです。これらが釣り人排除の理由になり、今まで釣場であったところが立ち入り禁止になったり、環境保全にも悪影響を及ぼしています。

## NATIONAL RECREATIONAL FISHING CODE OF PRACTICE

アマチュア・アングラーの行動規範

○廃棄された釣り糸は、生物が絡まって死んでしまう問題を起し続けています。また、他の人にも迷惑になります。根掛かりをしたらできるだけ回収し、活用できないラインは適切に処分してください。

### 【情報の必要性】

○水のエコシステムを管理にあたって決定的に不足しているのはモニタリングです。できれば、環境のための市民科学プログラムに参加してください。たとえばRedmap [www.redmap.org.au](http://www.redmap.org.au) やEye on the Reef [www.gbrmpa.gov.au/managing-the-reef/how-the-reefs-managed/eye-on-the-reef](http://www.gbrmpa.gov.au/managing-the-reef/how-the-reefs-managed/eye-on-the-reef) などです。

### 【できることを行う】

○魚の生息環境向上を目指して、コミュニティ・ベースの環境プロジェクト開発に取り組む釣りの組織は数多くあります。魚資源やエコシステムの健全化、環境の連続性などの改善を目指すものです。

○きれいで汚染のない水の実現、生息環境の保護・改善は、魚の幸福に直接つながることで、それらが確保されてはじめて、魚は普通に、自然に生きられるのです。

○環境保全および回復プログラムに資金を提供する、あるいは自ら参加することを検討してください。OZfish-Unlimited、Fishcare、Coastcare、Waterwatch、Rivercare、Landcareといった多数のプログラムが存在します。

(この文書はオーストラリア政府が資金を提供し、オーストラリア釣り財団が国内向けとして作成したものです。和訳は、一部を省略した抄訳としてわかりやすさを心がけました。)

自分だけ良ければそれでいいという考えでは、もはや楽しい釣りを維持していけないからこそ、このようなガイドブックが作られているわけです。できることから始めましょう。きっと貢献ができるはず、お互いに釣りの明日を維持するために頑張りましょう。

オーストラリア政府は釣りの大切さを理解しており、国民も釣りがいつまでも楽しく、健全に続けられることを祈っているからこそ、国民の税金でこのような釣りのガイドブックを発行しています。それに比べて日本はどうでしょう。釣りの技術、釣具は大いに発展しましたが、残念ながら釣りに対する姿勢、ゲームフィッシュの資源維持、環境保全についてはオーストラリア、アメリカなどに大きく遅れをとっているといわざるを得ません。日本の釣り人も自らの姿勢を正しつつ、釣りの振興に力を入れることを政府に要望していくことが望まれます。



サーモン類はゲームフィッシュとして代表的なターゲット。釣りおよび漁獲がきちんと規制されている国がほとんどです



### フロリダのスヌークに関するスロットリミット

「スロットリミット」とはあまり聞き慣れない用語かも知れませんが、特定サイズの魚の持ち帰りを許可ないし禁止する規則で、だいたい前者のタイプです。○○センチメートルからXXセンチメートルまでという「枠」が「スロット」ですね。フロリダ南部のポートランプで掲げられていたこの看板を訳してみましょ。資源量の変動により、ゲームフィッシュ持ち帰りの規則は細かく調整されることが多いです。

……2006年6月1日から、全長による制限が適用されている海水魚は、魚を横たえた状態で、口を閉じた時の口吻の先端から、尾びれを上下からつまんだ時の最遠点までを全長とみなします。また2006年7月13日から、スヌークの持ち帰り可能スロットは1インチ動かされ、26～34インチ(65cm～85cm)から27～34インチ(67.5cm～85cm)になりました。……